

2025年度 事業計画

岡山商科大学専門学校

1 現状と課題

(1) 在学生数推移

令和7年(2025)年3月16日現在

	令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 2025年度(見込)	
	1年	2年	1年	2年	1年	2年
トラベル観光学科	1	3	4	1	3	4
まんがネットショップ学科	0	4	1	0	1	1
事務職養成学科	14	6	3	14	1	2
国際総合ビジネス学科(留学生)	28(5)	30	77	26(5)	80	75
学年合計	43(5)	43	85	41(5)	85	82
合 計	85(5)		126(5)		167	

各年度数字は5月1日現在 () は10月入学で内数

18歳人口の減少や、専門学校進学希望者の県外志望増などの影響で、日本人学科への入学が極端に減少している。また昨年と変わらず附属高校からの志願者が減少した状況であるため、2024年度から附属高校へはPR方法を変更した。

留学生に関しては別科からの志願者が増加している。

令和6年度に策定した「経営安定化推進5カ年計画」に示された、12項目の取り組みを順次進める。

(2) 学科について

① トラベル観光学科

観光旅行業も回復してきている現状から、志願者の増加を見込んでいたが、まだ予測の数には至っていない。「おかやま旅プランコンテスト」を主催し、旅や地域の魅力も発信しながら志願者増につなげたい。

② まんが・ネットショップ学科から動画デザインビジネス学科

まんが・ネットショップ学科は最終年度になる。

動画デザインビジネス学科の教育内容と、目指す社会人の周知に努める。

③ 事務職養成学科

多くの資格取得に有利な学科であり、その資格スキルを生かして岡山商科大学3年生に編入することで、実践力の備わった社会人を目指せることを周知する。

④ 国際総合ビジネス学科

80名の留学生が、ビジネスを学ぶ学科であることを引き続き周知する。また新2年生は半分以上が日本語能力検定(JLPT)の3級以上に合格しており、本校教育の成果を実感できている。引き続き「進路に強い・面倒見が良い」のロコミの維持に努める。

(3) 施設設備について

学習環境整備のためPC教室を再編し、新たに保健室の新設・スタジオルームの新設・多目的教室の新設を行い、学生の学習活動および学校生活の向上を図る。

2 事業計画

(1) 進路課業務の効率化

学生数の増加に伴い、進路決定までの業務量が増加する。そのための対策として、進路ノートを作成し、学生が自己分析、社会状況分析、必要書類作成、エントリーまでを円滑に進められるツールとする。

(2) 学科の募集停止と新設学科の設置

- ・2025 年度末「まんが・ネットショップ学科」の廃止
- ・2025 年度「動画デザインビジネス学科」の新設
- ・2025 年度「国際総合ビジネス学科」の入学定員 30 名を 40 名にし総定員を 60 名から 80 名に増員
- ・2025 年度「キャリア専攻学科」「キャリアアップ学科」の廃止

(3) 入試制度（国際総合ビジネス学科）の変更に伴う状況の分析と新たな入試制度の制定

- ・AO入試の廃止に伴う応募状況の分析と今後の方針を決定する。
- ・学校推薦入試・早期出願入試の導入の分析と今後の方針を決定する。

(4) 学納金の増額

2025 年度入学生から授業料部分の 5 万円を増額したが、別科からの入学生への入学金の減額により収入増には至っていない。今後も物価の上昇や他校の動向を把握し、対応する。

(5) キャリア教育（岡山商科大学との連携）

- ・岡山商科大学入試課からの大学説明会の実施
- ・大学での本校単独オープンキャンパスの実施

(6) 附属高校との連携

- ・附属高校のオープンスクールおよび文化祭への出展
- ・出前授業等の実施

(7) 日本語学校との連携強化

- ・関西地区在住の日本語学校生に周知する。（神戸市でのガイダンス利用）
- ・入試制度の変更を学校訪問により周知する。（岡山県内・高松市・広島東部）
- ・SNSで留学生に限定した発信をする。（関西地方）

(8) 効果的な広報活動（ワイド&スポットの継続）

- ・SNSの活用
- ・県立図書館での雑誌広告・アリオ倉敷や附属高校前のデジタルサイネージの活用
- ・高校訪問や日本語学校訪問の充実

(9) 情報公開

- ・「大学等における修学の支援に関する法律による対象機関」として必要な情報公開を継続する。
- ・学校関係者評価委員会での意見に基づく改善を進める。

(10) 教育の質向上

- ・引き続き「COS学習スタンダード」を活用してわかりやすい授業の展開を目指す。
- ・全教員対象の授業評価により、学修の質の向上を図る。

(11) 人事管理

- ・新採用研修を実施する。
- ・自己目標シートを活用した目標管理により、具体的な行動に移行しやすくする。